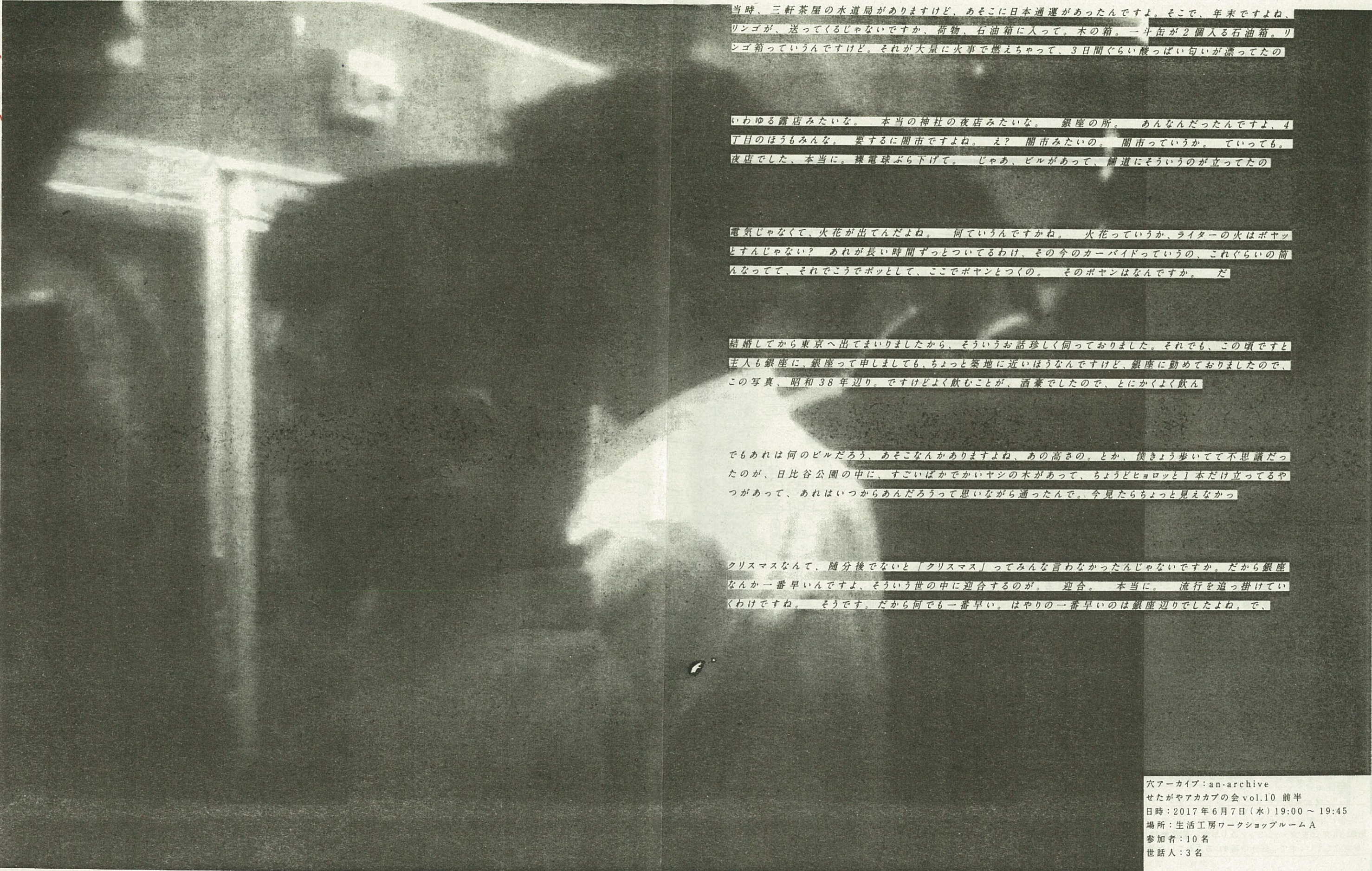


かぶうすら、やまいもうが、アカカブの会。記録 2017 no.1



当時、三軒茶屋の水道局がありますけど、あそこに日本通運があったんですよ。そこで、年末ですよ、リンゴが、送ってくるじゃないですか、荷物、石油箱に入って、木の箱。一斗缶が2個入る石油箱。リンゴ箱っていうんですけど、それが大量に火事で燃えちゃって、3日間ぐらい酸っぱい匂いが漂ってたの

いわゆる露店みたいな。本当の神社の夜店みたいな。銀座の所。あんなんだったんですよ、4丁目のほうもみんな。要するに開市ですよ。え？開市みたいの。開市っていうか。ていっても。夜店でした、本当に。裸電球ぶら下げて。じゃあ、ビルがあって、舗道にそういうのが立ってたの

電気じゃなくて、火花が出てんだよね。何ていうんですかね。火花っていうか、ライターの火はポヤッとすんじゃない？あれが長い時間ずっとついてるわけ、その今のカーブドっていうの、これぐらいの筒になってて、それでこうポツとして、ここでポヤンとつくの。そのポヤンはなんですか。だ

結婚してから東京へ出てまいりましたから、そういうお話珍しく伺っておりました。それでも、この頃ですと主人も銀座に、銀座って申しまして、ちょっと築地に近いほうなんですけど、銀座に勤めておりましたので、この写真、昭和38年辺り。ですけどよく飲むことが、酒豪でしたので、とにかくよく飲ん

でもあれは何のビルだろう、あそこなんかありますよね、あの高さの。とか、僕きょう歩いてて不思議だったのが、日比谷公園の中に、すごいばかどかいヤシの木があって、ちょうどビヨロッと1本だけ立ってるやつがあって、あれはいつからあんだらうって思いながら通ったんで。今見たらちよつと見えなかつ

クリスマスなんて、随分後でないと「クリスマス」ってみんな言わなかったんじゃないですか。だから銀座なんか一番早いんですよ、そういう世の中に迎合するのが。迎合。本当に。流行を追っ掛けていくわけですね。そうです。だから何でも一番早い。はやりの一番早いのは銀座辺りでしたよね。で、

穴アーカイブ: an-archive
せたがやアカカブの会 vol.10 前半
日時: 2017年6月7日(水) 19:00 ~ 19:45
場所: 生活工房ワークショップルームA
参加者: 10名
世話人: 3名



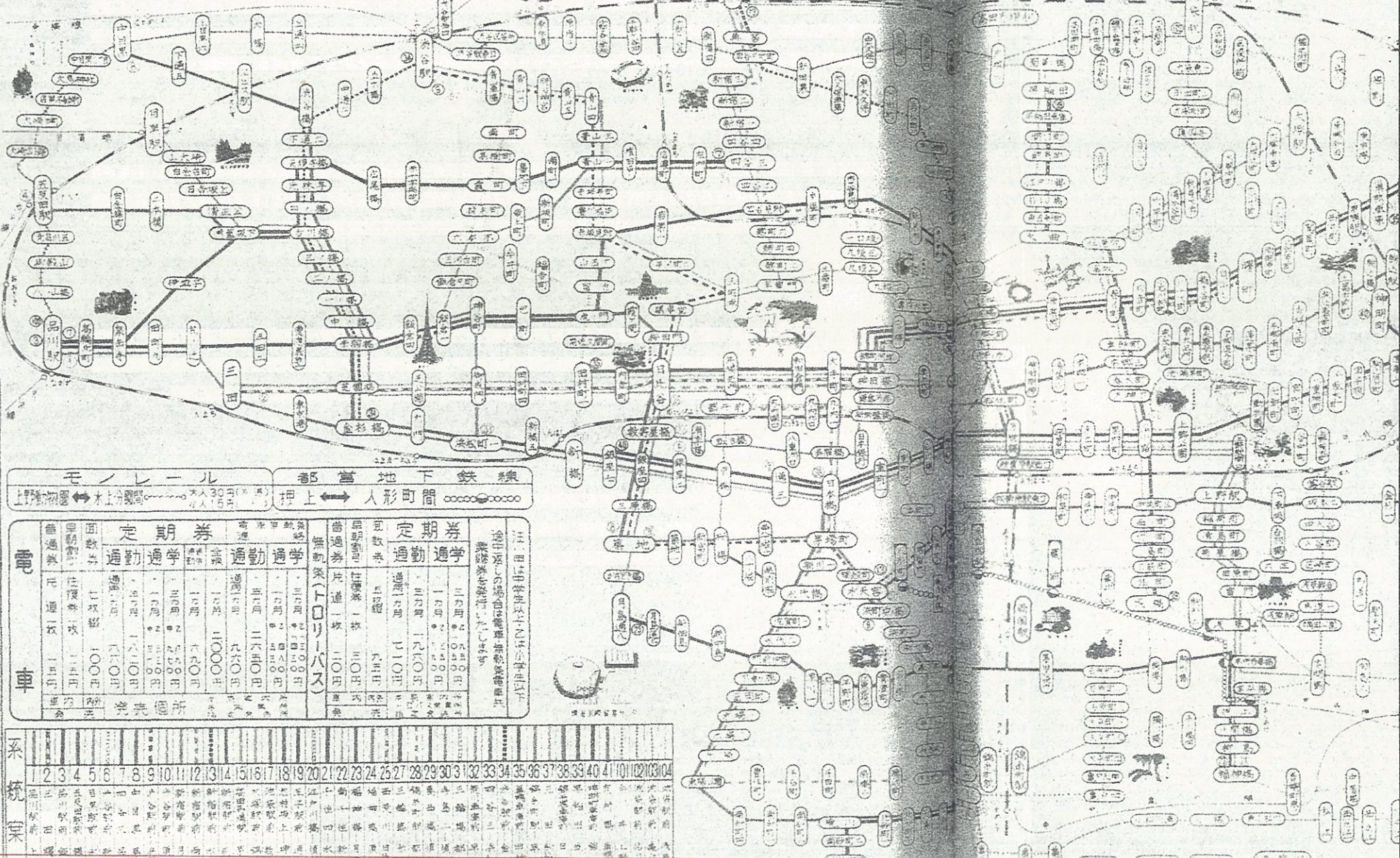
穴アーカイブ：an-archive

記録を残すという営みを、記録が残らないこと、すなわち、記録の不在(穴)から捉え直す反(an)アーカイブ的アーカイブの試み。昭和30～50年代にかけて市販された8ミリフィルムという映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、くらしに光をあてる。2015年から始動。



せたがやアカカブの会：The setagaya akakay circle
穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観ながら語り合う小さな集いの場。ほぼ毎月で開催。開催予定、上巻2巻は、生活工房エッセイまたはくおん会「くらし」の強読下読み、「見ると大発見」本誌くおん会より、ぜひもう一度「は、生命の断片的・公式活動記録」

電車案内図



映画には部道は出てきませんが、フィルムに映っている日比谷や銀座のあたりには部電の路線がいくつもありました。昭和38年は東京オリンピックの1年前。道路整備に伴い約10年の間に少しずつ路線が消えていきます。「まちの風景」が変化していく中で、自分の周りにあふれていた景色はどんなだったか、それぞれの語りを伺いました。

地図資料：『電車案内図(昭和37年10月)』 出典：『東京・市電と街並み』林暁信 小学館1983(昭和58年)

撮影時の銀座の様子を記した新聞記事です。記事には、クリスマスイブを家で過ごす人が増えてきて、盛り場はどこも人出が少し減っていると書かれています。それでも写真を見る限り、銀座の夜は人でごった返っていて「華やかな銀座」のイメージが広がります。では、今回参加された方々の銀座の記憶とは、どんなものなのでしょうか？

Xマスイブ 楽しい人出

盛り場では「牛歩」 家庭中心組もふえ

人できっしりつまつたクリスマスイブの銀座(銀座駅を境とする)

「クリスマスイブの銀座は、昭和30年代の銀座とは違って、華やかな銀座のイメージが広がりました。でも、記事には、クリスマスイブを家で過ごす人が増えてきて、盛り場はどこも人出が少し減っていると書かれています。それでも写真を見る限り、銀座の夜は人でごった返っていて「華やかな銀座」のイメージが広がります。では、今回参加された方々の銀座の記憶とは、どんなものなのでしょうか？」

110

かぶら、やまいもなご アカカブの会の記録2017 no.1
発行日：2017年7月25日

お問い合わせ：生活工房 03-5432-1543 info@setagaya-ldc.net
編集：せたがやアカカブの会世話人(松本篤、八木寛之、成田海波、ブルサコワありな)
主催・発行：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
http://www.setagaya-ldc.net/
企画制作：remo [NPO 法人記録と表現とメディアのための組織]
後援：世田谷区、世田谷区教育委員会

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。

